

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(18年1月分)

1. 調査実施期間 平成17年 12月20日 ~18年1月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

1月分の回答企業数は37社、回収率は64.9%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		18/1月	2月	3月
仕入動向	国産材	△ 16.7	△ 9.3	△ 1.9
	外材	△ 21.2	△ 19.7	0.0
販売動向	国産材	△ 20.4	△ 5.6	1.9
	外材	△ 15.2	△ 1.6	14.1
在庫動向	国産材	△ 11.1	△ 13.0	△ 5.8
	外材	△ 7.8	△ 18.8	△ 9.7

仕入れでは、2~3月に国産材が大きなマイナス幅を徐々に縮めごく小さなマイナスへ推移。外材は大きなマイナス幅を一気にゼロへと回復している。
販売は国産材、外材とも大きなマイナスからプラスへと推移。特に外材のプラス幅は大きい。在庫はマイナス幅で若干上下しつつほぼ横ばいである。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	18/1月	2月	3月
スギ正角(グリーン)	2.3	△ 2.3	0.0
スギ正角(KD)	2.5	2.5	2.5
ヒノキ正角	△ 2.3	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	29.4	14.7	8.8
米ツガ防腐土台角	12.5	7.5	7.9
米ツガ割物(現地挽)	33.3	19.4	11.1
米マツ平角	45.0	27.5	21.1
北洋アカマツタルキ(現地挽)	34.2	23.7	16.7
ホワイトウッド集成管柱	13.9	8.3	5.9
レッドウッド集成平角	29.4	14.7	11.8
型枠合板(国産)	52.9	26.5	12.5
型枠合板(輸入)	52.9	26.5	6.3
針葉樹合板	50.0	29.4	12.5

スギ、ヒノキの構造材は、2~3月小さなプラス幅、小さなマイナス幅、ゼロと堅調な推移である。
米ツガの正角、土台等プラス幅の上下はみられるが好調。米マツ平角は大きなプラス幅を縮めるが好調持続。
北洋アカマツタルキは大きなプラス幅を多少縮めるが、順調である。
ホワイトウッド集成材管柱はプラス幅小さくしつつも好調を堅持している。同様にレッドウッド集成平角はプラス幅を縮めるが依然好調。
合板は、極めて大きなプラス幅を2~3月に小さくするが好調を維持。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

1. 荷動き

単位:%

品 目			18/1月	2月	3月
仕入動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	7.4	11.1	3.8
		横ばい	55.6	63.0	88.5
		やや減少	33.3	22.2	7.7
		減少	3.7	3.7	0.0
	外 材	増加	3.0	0.0	6.3
		やや増加	15.2	6.1	3.1
		横ばい	27.3	60.6	78.1
		やや減少	45.5	21.2	9.4
		減少	9.1	12.1	3.1
販売動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	3.7	18.5	7.7
		横ばい	55.6	55.6	76.9
		やや減少	37.0	22.2	11.5
		減少	3.7	3.7	3.8
	外 材	増加	3.0	0.0	9.4
		やや増加	12.1	18.8	15.6
		横ばい	42.4	62.5	68.8
		やや減少	36.4	15.6	6.3
		減少	6.1	3.1	0.0
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	11.1	7.4	3.8
		横ばい	55.6	59.3	84.6
		やや減少	33.3	33.3	7.7
		減少	0.0	0.0	3.8
	外 材	増加	0.0	0.0	3.2
		やや増加	25.0	6.3	0.0
		横ばい	37.5	56.3	74.2
		やや減少	34.4	31.3	19.4
		減少	3.1	6.3	3.2

2. 価格動向

品 目		18/1月	2月	3月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	4.5	0.0	0.0
	横ばい	95.5	95.5	100.0
	やや下落	0.0	4.5	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	5.0	5.0	5.0
	横ばい	95.0	95.0	95.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	95.5	100.0	100.0
	やや下落	4.5	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	100.0	100.0	100.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

品 目		18/1月	2月	3月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	5.9	0.0	5.9
	やや上昇	47.1	29.4	5.9
	横ばい	47.1	70.6	88.2
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	5.0	0.0	5.3
	やや上昇	15.0	15.0	5.3
	横ばい	80.0	85.0	89.5
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	11.1	5.6	5.6
	やや上昇	44.4	27.8	11.1
	横ばい	44.4	66.7	83.3
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	15.0	5.0	5.3
	やや上昇	60.0	45.0	31.6
	横ばい	25.0	50.0	63.2
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	5.3	5.3	5.6
	やや上昇	57.9	36.8	22.2
	横ばい	36.8	57.9	72.2
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	27.8	16.7	11.8
	横ばい	72.2	83.3	88.2
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド 集成平角	上昇	5.9	0.0	0.0
	やや上昇	47.1	29.4	23.5
	横ばい	47.1	70.6	76.5
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	11.8	0.0	0.0
	やや上昇	82.4	52.9	25.0
	横ばい	5.9	47.1	75.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	11.8	5.9	0.0
	やや上昇	82.4	41.2	12.5
	横ばい	5.9	52.9	87.5
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	5.9	5.9	0.0
	やや上昇	88.2	47.1	25.0
	横ばい	5.9	47.1	75.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

- 米マツ一般材丸太では、日本向け輸出価格が続伸。値上げを進めても、先物コストは更に高値につき、格差が一向に埋まらない。(東京:問屋)
- 南洋材は天候不順で出材量は相変わらず少ない。
中国は春節で2月中旬まで休みの工場が多く、出荷量減少。(東京:問屋)
- 国産材、一陽来復なるか。豪雪の影響は二極化顕著(高唱えと資金繰りの為の換金?)。
(東京:問屋)
- 正月明けでまだ本格的に稼働していないが、政府・日銀がいう景気回復の実感には乏しい。為替の相場安定が必要である。(東京:問屋)
- 細かいながら荷動きは良い方であるが、今後も価格が上昇しているのに仮需もおきない(先の仕事が見えないため)。(東京:問屋)
- 米マツ小割材、乾燥材：とても上昇してしまって手が出しにくくなってしまった。どこまでついていくか。(東海:問屋)
- 年も明け、景気上向きの期待感もあるが、末端まで回らずにこの一年も過ぎていくように思われる。(東京:仲買小売)
- 新年を迎えて経済界では、1966年から続いたいざなぎ景気を超える好景気が続くだろうと報じているが、木材業界はその好景気に乗れるだろうか。同業者の廃業が目立つ。
(東京:仲買小売)
- 年始まだ仕事も本格化していないが、今年は期待感を持っている。価格も諸々動くのではなかろうか。(東京:仲買小売)
- リフォーム工事の依頼が多くなり、忙しい2、3月になりそうです(東京:仲買小売)
- 最近、内地杉特1材KDが、ぼつぼつですが注文がある。われわれ材木業には誠にありがたいことです。(東海:仲買小売)